



杉谷 洋一 議員

本町の教育の方向は？

教育
委員長

家庭と連携を密に



元気いっぱいな子どもたち

【杉谷】子どもたちが、みずから学び、考える力や豊かな心、たくましさなどの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域と信頼関係を築き、相互に連携して社会全体で人間性豊かな人材を育てるべきである。

また、子どもたちの自己実現のためには自由な時間も必要であり、定着している週5日制を続けてはどうか。

【教育委員長】 思考力・判断力・表現力および「生きる力」を育てる

ために、学校ごとに教育課程を工夫し必要な授業時間数を確保している。

また、全国学力テストでほとんどの教科が平均点を上回っているの
で、今のところは土曜授業の導入は考えていない。

【杉谷】家庭学習の状況は。

【教育委員長】 家庭での学習時間が短いことが課題であり、手引き書を作成して家庭と連携を密にしなが、学力向上に努めている。

オリンピックチームの合宿誘致は？



大杖 正彦 議員

町長

積極的に名乗りを上げる



夢と希望を(夕陽の丘神田)

【大杖】過去に鳥取市で、日韓サッカーワールドカップでエクアドルチームが22日間、2007世界陸上大阪大会前には、ジャマイカチームが11日間合宿した際、それぞれ7億8000万円、4億8000万円の経済効果があったと試算された。

参加チームの合宿誘致は、単に経済効果だけではなく、選手・チームの姿を通して本町の魅力を大々的に報道され、日本中はもとより世界に向けた宣伝とな

り、その後の観光客の引き寄せにも大きな力となる。

2020東京オリンピック・パラリンピックに参加する外国チームの事前合宿を本町に誘致してはどうか。

【町長】オリンピック選手が本町で練習・調整するという事態になれば、考えただけでも胸が高まる。経済効果にとどまらず、夢と希望をもたらしものと考えれば、県と力を合わせ情報収集に努め、状況にあわせて積極的に名乗りを上げる。